

理事長交代のお知らせ

向井 淳滋 前理事長（呉信用金庫）の退任に伴い、小林 明宗 新理事長（広島みどり信用金庫）が選任されました。



前理事長
向井 淳滋

退任のご挨拶

この度、令和7年7月18日をもって、中国しんきん健康保険組合の理事長を退任いたしました。令和4年7月に就任して以来、皆様には格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

在任中は、組合員の皆様の健康維持・増進と、組合の安定的な運営に尽力してまいりました。健康保険組合を取り巻く環境は、高齢者への納付金・支援金や医療費の増加など、常に変化しており、その舵取りの難しさを日々痛感しておりました。

特に近年は、新型コロナウイルス感染症への対応や、マイナ保険証への移行、そして皆様の健康を守るための新たな取り組みなど、様々な課題に

直面いたしました。これらの課題に対し、組合員の皆様、そして役職員の皆様のおかげで、一つ一つ乗り越えることができました。心より感謝申し上げます。

後任の小林理事長は、私の経験を踏まえ、更なる組合の発展に力を尽くされることと確信しております。

皆様には、引き続き当健康保険組合の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。長年のご厚情、誠にありがとうございました。



新理事長
小林 明宗

就任のご挨拶

盛夏の候、被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当健康保険組合の事業運営につきまして多大なご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

この度、向井前理事長の後任として中国しんきん健康保険組合理事長に就任するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

現在、我が国の医療費は増加の一途を辿り、健康保険組合を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。特に、今年は団塊の世代が全員後期高齢者となる「2025年問題」に直面する年であり、後期高齢者医療にかかる医療費が大幅に増加することが見込まれております。これにより、現役世代である皆様への負担が増加するなど、健康保険

組合の財政は一層の厳しさを増すことが予想されます。

このような状況の中、理事長という重責を担うこととなり、改めてその職務の重要性を痛感しております。組合員の皆様が安心して医療を受けられるよう、健全な組合運営に努めるとともに、医療費適正化に向けた取り組みや、皆様の健康増進に資する事業を積極的に推進してまいります。特に、急速に進む高齢化の波を乗り越えるためには、予防医療の推進や、一人ひとりの健康寿命を延ばすことが極めて重要となります。

皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意、職務に邁進する所存でございますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。